

令和3年度 福岡市中学校新人体育大会 第38回福岡市中学校新人軟式野球大会

主催 福岡市教育委員会
福岡市中学校体育連盟

1. 日 時 令和3年10月24日(日)・30日(土) 予備日10月31日(日)
2. 会 場 10月24日 汐井球場, 西部球場, 桧原球場, 香椎浜第2球場
10月30日 雁の巣球場・汐井球場・(野間中)・(老岐丘中)
10月31日 [予備日]香椎浜公園第1野球場・香椎浜公園第2野球場
3. 競技方法 トーナメント形式
4. 参加資格 東西南北の4地区より4校ずつの16校
5. 競技規則 2021年度公認野球規則および大会取り決め事項に則って行う。
6. 申し合わせ事項
 - (1) 用具 公認球M号・軟式公認バットを使用し, キャッチャーはヘルメット・プロテクターを着用する。控え捕手も防具を着用する。打者・走者・ベースコーチはヘルメットを着用する。
 - (2) 公式練習 フィールディング練習は試合開始前25分より, 7分間ずつ後攻側チームから行うものとする。また, 大会会場での早朝練習は禁止する。次の試合の先発投手1名および捕手1名は, 前の試合の4回裏終了時点から球場内のブルペンでの投球練習を認める。その際, 現在試合中のチームの投球練習の妨げにならないように配慮すること。
 - (3) 登録変更 試合開始40分前までには登録変更を済ませる。
 - (4) オーダー 第一試合は試合開始40分前までとし, 第二試合目以降は4回終了後とする。(メンバー交換用紙5部持参)
 - (5) 集合 チームおよび監督は1時間前までには会場に到着する。監督・主将は到着したことを本部役員に通告する。
 - (6) 監督・コーチ 引率・監督は, 出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては, 出場校の教育職員(部活動指導員を含む)とする。ただし, 教育職員以外のコーチは学校長が認め, 中体連に登録し, 承認を受けたものとする。
 - (7) ベンチ 出場チームのベンチ入りは校長・監督・引率教師・コーチ(外部コーチ)の4名以内の教育職員および登録選手18名とする。コーチは当該学校の教職員および登録済みの外部コーチに限る。ベンチは組み合わせの左側を1塁側とする。
 - (8) 服装 監督および登録選手は当該チームの統一された同型同色のものを着用する。(監督・コーチのシューズについても同型同色のものが望ましい。)アンダーシャツは同色のものを着用する。また, 登録選手は, 原則として守備順に背番号をつけ, 補欠選手は10番より18番の背番号をつける。監督は必ず30番をつけること。
 - (9) 表彰 一位, 二位, 三位(2校)の4校を表彰する。
 - (10) 試合 試合回数は7回とする。5回以降, 7点差がある時はコールドゲームとする。試合途中, 降雨又は光化学オキシダント警報等により試合が続行不能の時は5回終了時点で試合成立とする。成立しない場合は, 再試合をする。**延長戦は8~10回までとし, タイブレークとする。**タイブレークは, 継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし, 2塁の走者は順次前の打者とする。すなわち, 無死1塁, 2塁の状態にして1イニング行い, 得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は, 更に継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。なお, 規定によって認められる選手の交代は許される。10回終了までに勝敗が決しない場合は, 最終出場選手9名全員による抽選によって決定する。
 - ※ 問題が生じた場合は, 監督と主将のみ「抗議」できる。
 - ※ ベースコーチは登録選手に限る。
 - ※ 中学生らしからぬ行為をしたものは, 退場を命ずることがある。
 - ※ 出場校のブラスバンド部による応援は認めるが, 相手校のピッチャーが投球動作に入った時は謹む。なお, その他の「鳴り物・ペットボトル」での応援は禁止する。
7. チーム登録 当該校長, 教育職員3名(うち1名は外部コーチでも可), 選手18名とする。
8. 申し込み登録方
 - (1) 学校名, 校長, 監督, 引率教師, コーチ, 選手名(ふりがな), 学年, 背番号を記入のうえ, 所定の選手登録用紙で10月11日(月)まで**(決定当日)**に電子メールで送信する。
 - (2) 申し込み先 原中学校 高田 浩史
9. その他
 - (1) 福岡市中学校体育連盟遵守事項厳守のこと。
 - (2) 本大会の上位3チームは県大会への参加義務を負う。
 - (3) AEDについては, 各会場管理事務所に設置されている。
 - (4) Jアラート警報時は, 試合を一時中断し, 安全な場所へ移動し, 待機する。警報が解除され次第, 試合を再開する。
 - (5) 福岡市中学校体育大会開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン, JSBB感染予防対策ガイドラインを順守すること。

